

附属資料

1 市 5 町 の す が た

1 市 5 町の現況 P 1

鹿児島市 P 3

吉田町 P 5

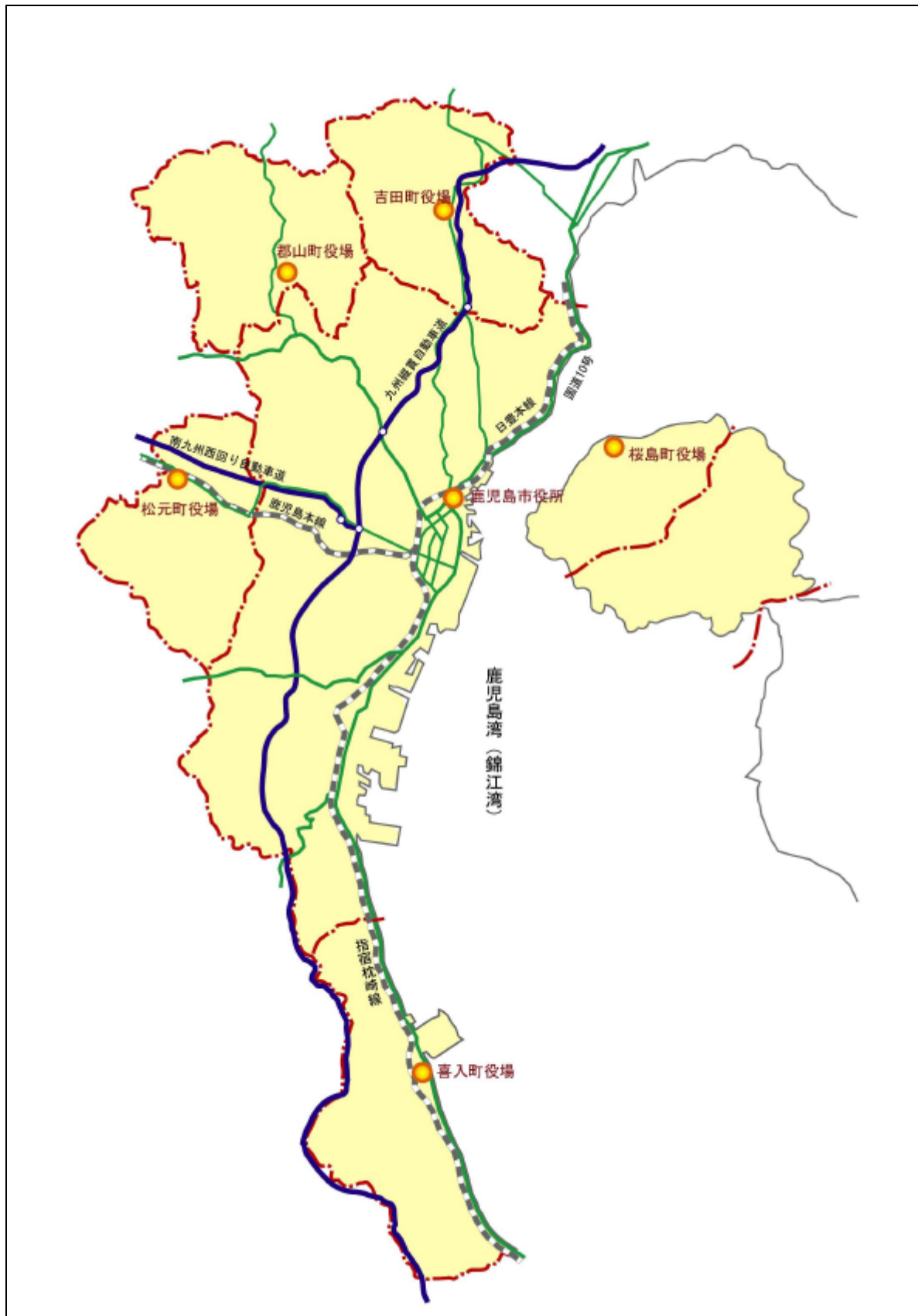
桜島町 P 7

喜入町 P 9

松元町 P 11

郡山町 P 13

鹿児島地区合併協議会 1市5町の現況図 (5町から鹿児島市への通勤率・通学率)



1市5町の主なデータ

項目 市町名	面積 (km ²)	人口(人) 平成12年10月 国勢調査	世帯数(世帯) 平成12年10月 国勢調査	議員数(人) 条例定数
鹿児島市	289.79	552,098	229,064	50
吉田町	54.79	11,736	4,001	16
桜島町	32.19	4,678	1,788	16
喜入町	61.23	12,802	4,828	18
松元町	51.05	12,065	4,234	18
郡山町	57.75	8,314	3,040	16
合計	546.80	601,693	246,955	134

鹿児島市

【概要】

鹿児島市は、明治 22 年 4 月に市制を施行して以来、昭和 42 年の谷山市との合併、平成 8 年の中核市への移行を経て、現在では人口 55 万人を擁する県都として、また南九州の中核都市として、政治・経済・社会・文化等高次な都市機能が集積した都市として発展を続けています。

都市像を「人とまち 個性が輝く 元気都市・かごしま」と定め、市民一人ひとりが生き生きと輝き、人・もの・情報の多彩な交流でにぎわう元気な都市を築き、そこで育まれる本市の個性を愛着と誇りをもって国内外に発信する鹿児島市を創造することとしています。

【位置及び地勢】

鹿児島市は、九州の南端鹿児島県本土のほぼ中央部にあって、東経 130 度 26 分から 130 度 43 分、北緯 31 度 24 分から 31 度 41 分に位置し、北は吉田町、郡山町、西は松元町、南は喜入町などと接しています。また、鹿児島湾を挟んだ桜島では桜島町と接しており、東西約 27 km、南北約 30 km の風光明媚な都市です。

市街地は、鹿児島湾に流入している甲突川など 7 つの中小河川により形成された小平野部にあり、その周辺は、海拔 100m から 300m の丘陵地帯（シラス台地）となっています。

鹿児島のシンボルとして知られている桜島（標高 1,117m）は、市街地から約 4 km の対岸にあり、依然として活発な火山活動を続けています。

【特徴】

地理的特性を生かし、日本の南の結節点として物流をはじめ、ビジネスや魅力ある観光の拠点として、その価値を高めることが期待されています。

平成 16 年春の九州新幹線鹿児島ルートの開通をはじめ高速道路網の整備など、交通の要衝としての機能の高まりに伴う広域的な交流・連携の拡がり期待できます。

世界に誇れる自然景観、温暖な気候、豊富な温泉、南北 30 km のウォーターフロントは、かけがえのない財産であり、観光資源になっています。

南北 30 km のウォーターフロントは、さらにその整備促進を図ることにより、産業や観光等の交流の活性化に向けた積極的な活用が期待されています。

これまで築いてきた個性ある歴史や文化、伝統がまちに息づき、優秀な人材を育む風土が受け継がれています。

【主なプロジェクト】

西鹿児島駅東西駅前広場の整備

鹿児島ふれあいスポーツランドの建設

新北部清掃工場の建設

都市拠点総合整備事業（鹿児島駅周辺地区）

谷山駅周辺地区リニューアル整備事業

鴨池公園水泳プールの移築

電子市役所の構築

データで見る鹿児島市（主要指標）

項 目	単位	デ ー タ	期 日	
面積	km ²	289.79		
地目別面積割合	宅地	%	17.8	平成13年度概要調書
	山林	%	17.0	
	畑	%	9.4	
	原野	%	6.0	
	田	%	2.8	
	雑種地	%	2.5	
	その他	%	44.6	
世帯数	世帯	229,064	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	552,098		
	(男)	人	258,135	
	(女)	人	293,963	
年齢別割合	15歳未満	人(%)	86,269 (15.6)	
	15～64歳	人(%)	377,347 (68.3)	
	65歳以上	人(%)	88,475 (16.0)	
人口増減数	平成13年	増加数	人	821
		自然増	人	1,556
		社会増	人	-735
	平成12年	増加数	人	1,186
		自然増	人	1,695
		社会増	人	-509
	平成11年	増加数	人	217
		自然増	人	1,445
		社会増	人	-1,228
就業者数	人	255,539	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	0.9	
	第2次産業	%	18.0	
	第3次産業	%	80.1	
普通会計	歳入決算額	千円	189,323,534	平成13年度
	歳出決算額	千円	182,316,248	
市内純生産		千円	1,677,869,534	平成11年度
	第1次産業	千円	4,098,358	(控除) 帰属利子
	第2次産業	千円	216,572,202	54,379,515
	第3次産業	千円	1,511,578,489	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

吉田町

【概要】

吉田町は周りを山々に囲まれ、溪流や緑豊かな自然環境に恵まれた田園の町です。町の南北に高速道路のインターチェンジがあり、また、鹿児島市や鹿児島空港まで車で約 30 分という交通アクセスの利便性など立地環境にも恵まれており、企業進出や鹿児島市のベッドタウンとして人口増加率も県内で上位を占めています。

また、総合教育センター、自治研修センター、青少年研修センターなどの県立の教育・研修機関があり「教育の町」として多くの研修生が来町しています。

まちづくりの基本理念を「心豊かで 活力にみちた やすらぎのあるまち」と位置付け、人々が豊かな自然環境のもとで、ぬくもりを実感できる魅力あるまちづくりを進めています。

【位置及び地勢】

吉田町は、鹿児島県の中部に位置し、鹿児島元標より北 16.1 km の位置にあって鹿児島郡に属しています。南は鹿児島市、西は郡山町、北は蒲生町、東は始良町に接し長方形をなした町です。

東は赤崩を盟主とする赤崩火山峰で、西は花尾山及び雄岳を盟主とした諸連峰がそびえ、これらの高峰を源として思川・本名川・稲荷川の溪流が山間を縫って鹿児島湾に注いでいます。

自然環境は、平坦 27%、山間及び傾斜地 73% で地形的に制約を受けていますが、北地区は水田地帯、南地区は畑地帯で、土地は肥沃で各種農産物の生産は良好です。

【特徴】

高速道路インターチェンジ等交通アクセスの利便性から、物流センター等の企業進出が増加しています。

良質な温泉やゴルフ場もあり、多くの利用客で賑わっています。

総合運動公園にはナイター設備を有した野球場・ソフトボール場・テニスコートのほか、文化行事にも利用できる文化体育センターが整備され町内外の多くの方に利用されています。

県内でも有数の新鮮野菜の産地です。施設型の集約的農業が盛んであり、特に品質の良いレイシ（ニガウリ）は、県内をはじめ広く首都圏でも好評です。

【主なプロジェクト】

- 公営住宅整備事業
- 公園整備事業
- 学校建設（吉田小）
- 公共下水道事業
- 町立保育所統合新設

データで見る吉田町（主要指標）

項 目	単位	デ ー タ	期 日	
面積	km ²	54.79		
地目別面積割合	宅地	%	6.2	平成13年度概要調書
	山林	%	4.8	
	畑	%	4.9	
	原野	%	22.9	
	田	%	1.4	
	雑種地	%	3.4	
	その他	%	56.4	
世帯数	世帯	4,001	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	11,736		
	(男)	人	5,596	
	(女)	人	6,140	
年齢別割合	15歳未満	人(%)	2,060 (17.6)	
	15～64歳	人(%)	7,357 (62.7)	
	65歳以上	人(%)	2,316 (19.7)	
人口増減数	平成13年	増加数	人	37
		自然増	人	-23
		社会増	人	60
	平成12年	増加数	人	20
		自然増	人	-14
		社会増	人	34
	平成11年	増加数	人	8
		自然増	人	-40
		社会増	人	48
就業者数	人	5,294	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	5.3	
	第2次産業	%	29.1	
	第3次産業	%	65.6	
普通会計	歳入決算額	千円	4,212,963	平成13年度
	歳出決算額	千円	4,055,545	
町内純生産		千円	19,461,247	平成11年度 (控除) 帰属利子 727,120
	第1次産業	千円	821,803	
	第2次産業	千円	4,753,441	
	第3次産業	千円	14,613,123	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

桜島町

【概要】

桜島町は、全体が霧島屋久国立公園に指定されている町です。桜島の爆発により流失した溶岩原など、豊かな自然資源により県の観光シンボルとなっています。

また、鹿児島市への通学率・通院率・買物率は県内第1位です。

本町の東に隣接している鹿児島市を含めた桜島を資源とする観光施策の一元的推進のほか、特産品を活用した都市型近郊農業等の振興を図っています。

活火山桜島の噴火の歴史と先人達の苦労を、確かな教訓として、世界の桜島に誇りと希望をもって「世界の桜島、元気のでるまちづくり」を基本理念に、21世紀の新しい時代に力強く生活する町づくりを進めています。

【位置及び地勢】

桜島は鹿児島県のほぼ中央に位置（東経130度38分、北緯31度36分）し、鹿児島湾の中部で鹿児島市の対岸3.8kmにある活火山「桜島」の西半分を占め、ほぼ全域が霧島屋久国立公園に指定されています。

桜島の噴火は主なものとして、文明・安永・大正及び昭和の噴火が挙げられ、残された溶岩流がその規模を物語っています。

本町は、東西に13.8kmの海岸線を有し、総面積は32.19km²で、その4分の3は山林、原野および溶岩となっており、桜島岳の噴出物に覆われた土壌で、大部分が軽石れきに富む砂分の多い砂土壌です。

【特徴】

町営桜島フェリーは、昼間帯は10分間隔、深夜帯は1時間間隔の1日176便で、24時間運航しています。

観光施設としての湯之平展望所やビジターセンター、地下1千メートルから湧出する温泉を楽しめる国民宿舎レインボー桜島、白浜温泉センターがあります。

桜島港周辺は、3つの溶岩グラウンドや総合体育館、勤労者体育館、ふれあい広場、町公民館、老人福祉センターなど、スポーツレクリエーション施設、生涯学習ゾーンとなっています。

桜島大根や小みかんなどの特産品に加え、畜産、軟弱野菜のブランド産地としてもよく知られ、漁業では県内でも有数のカンパチ、ブリ等の養殖場があります。

霧島屋久国立公園の指定を受けて、全町域が海岸保全区域、文化財保護法によって自然環境が保護されています。

【主なプロジェクト】

若者定住促進プロジェクトの構築

フェリー航送料助成による福祉の増進と利便性の確保

第18桜島丸（バリアフリー船）の建造

桜島ウォーターフロント整備計画

特産品をベースにギネスブックに挑戦する町

グリーンツーリズム、ブルーツーリズムによる交流、体験観光の形成

地域情報化推進事業

青少年国際交流事業

データで見る桜島町（主要指標）

項 目	単位	デ ー タ	期 日	
面積	km ²	32.19		
地目別面積割合	宅地	%	3.3	平成13年度概要調書
	山林	%	10.5	
	畑	%	21.7	
	原野	%	5.4	
	田	%	0.0	
	雑種地	%	2.0	
	その他	%	57.1	
世帯数	世帯	1,788	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	4,678		
	(男)	人		2,183
	(女)	人		2,495
年齢別割合	15歳未満	人(%)		636 (13.6)
	15～64歳	人(%)		2,647 (56.6)
	65歳以上	人(%)		1,395 (29.8)
人口増減数	平成13年	増加数		人
		自然増	人	-18
		社会増	人	-21
	平成12年	増加数	人	-56
		自然増	人	-13
		社会増	人	-28
	平成11年	増加数	人	-54
		自然増	人	-40
		社会増	人	18
就業者数	人	2,332	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	24	
	第2次産業	%	14	
	第3次産業	%	62	
普通会計	歳入決算額	千円	4,241,522	平成13年度
	歳出決算額	千円	4,170,428	
市内純生産		千円	11,015,453	平成11年度 (控除) 帰属利子 528,089
	第1次産業	千円	2,540,663	
	第2次産業	千円	2,556,854	
	第3次産業	千円	5,917,936	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

喜入町

【概要】

喜入町は、桜島の降灰も少なく、年間を通じて温暖な気候を持つ恵まれた条件を備えています。

また、鹿児島湾では、数少ない生見海水浴場を含む南北に長い海岸線を有し、この海岸線には、世界最大の貯油能力を持つ石油基地が設置され、町のシンボリック的存在となっています。さらには、これまで大規模な宅地開発が行われてきておらず、適度に農地が保全され、農村、田園としての雰囲気も残しております。

鹿児島市へは、通勤、通学、通院、買い物等、生活関連すべての面で依存している一方、都市近郊型農業・環境保全型農業の確立にも努めております。

本町のまちづくりは、新しい住民が次々に増えていくような仕掛け、つまり、交流人口を増やすようなまちづくり、“ホットな人・海・山 ほっと新呼吸のまち”をスローガンとして進めています。

合併においては、市中心部より遠い位置にありますが、連絡道である国道226号の整備や海岸線を生かしたまちづくりなど、本町の特性に合った推進を図ることにより、市民一人ひとりが生き生きと輝き、人・もの・情報の多彩な交流でにぎわう、元気な都市づくりの一躍を担うことが期待されます。

【位置及び地勢】

喜入町は、県都鹿児島市の南に位置し、錦江湾沿いに南北16km、東西6.2kmと細長い地形をなしています。また、長い海岸線は、沖合1.5kmまで遠浅となっています。

総面積61.23km²の約80%を高地の山林が占め、さらに火山特有のシラス土壌となっています。

知覧、頰娃町と接する西の山々は、分水嶺になっており、そこを源とする10余りの河川は鹿児島湾に注ぎ、流域には集落と水田が広がっています。

【特徴】

温泉保養館と室内温水プールなどを中心としたマリニピア喜入は、県内第1号の「道の駅」として親しまれ、常時、町内外の幅広い年代の利用客が訪れ、にぎわいを醸し出しております。

生見海水浴場は、薩摩半島で唯一キャンプのできる海水浴場で、7月の海開きから多くの利用客で賑わいます。

広大な森の自然に囲まれた「喜入の森」は、バンガローやテントサイト、遊具施設、レストラン等を有し、キャンプや研修に適した施設です。

環境共生住宅の整備や定住促進のためのミニ宅地分譲事業に取り組み、町外からの転入者や若者の定住のための環境づくりを推進しています。

【主なプロジェクト】

国道226号の整備（4車線化）

喜入新港や生見海水浴場の整備

都市近郊型農業、環境保全型農業の促進

地域福祉センター（仮称）の整備

中学校の屋内運動場及びプール等の改築整備

図書館を中心とする複合型文化施設の整備

データで見る喜入町（主要指標）

項 目	単位	デ ー タ	期 日	
面積	km ²	61.23		
地目別面積割合	宅地	%	7.53	平成13年度概要調書
	山林	%	48.1	
	畑	%	11.3	
	原野	%	0.9	
	田	%	6.6	
	雑種地	%	0.9	
	その他	%	24.6	
世帯数	世帯	4,828	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	12,802		
	(男)	人	5,940	
	(女)	人	6,862	
年齢別割合	15歳未満	人(%)	1,979 (15.5)	
	15～64歳	人(%)	7,633 (59.6)	
	65歳以上	人(%)	3,190 (24.9)	
人口増減数	平成13年	増加数	人	-21
		自然増	人	-71
		社会増	人	50
	平成12年	増加数	人	-105
		自然増	人	-67
		社会増	人	-38
	平成11年	増加数	人	-4
		自然増	人	-36
		社会増	人	32
就業者数	人	5,707	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	11.9	
	第2次産業	%	25.7	
	第3次産業	%	62.4	
普通会計	歳入決算額	千円	5,614,299	平成13年度
	歳出決算額	千円	5,443,283	
町内純生産		千円	19,291,473	平成11年度 (控除) 帰属利子 774,392
	第1次産業	千円	755,167	
	第2次産業	千円	4,685,694	
	第3次産業	千円	14,625,004	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

松元町

【概要】

松元町は、穏やかな気候と豊かな自然環境に恵まれ、お茶の産地として栄えてきた町です。近年は、宅地化も急速に進み、平成 12 年の国勢調査による人口増加率は、県内第 1 位となっています。

また、鹿児島市からの転入者が急増しており、鹿児島市への通勤率も第 1 位です。

合併により、運動・交流施設の相互利用が可能になるほか、連絡道路網の整備や大型団地開発による広域的なまちづくり等の推進を図ることができます。

【位置及び地勢】

松元町の位置は東経 130 度 26 分、北緯 31 度 36 分にあり、薩摩半島の中部に位置し、東は鹿児島市、南は吹上町及び日吉町、西北は伊集院町に接していて、総面積は 51.05 km² です。

地勢は東西 7.4 km、南北 11 km のほぼ三角形をなし、多数の丘陵と多くの溪谷からなり、その丘陵は高原台地で畑地と林野であります。台地は概ね標高 150m～200m に点在し、溪谷は相合して小川となりその流域に迫田を形成しています。

水田はシラスを母体としてできた砂壤土で、迫田の多くは切立ったシラスに面し、畑地の多くは台地上にあって、シラスに覆われています。

【特徴】

松元インターチェンジから鹿児島市内まで、わずか 5 分で結ぶ南九州西回り自動車道をはじめ、道路の整備が進められています。

J R 九州鹿児島本線の上伊集院駅と薩摩松元駅の 2 つの駅があり、上伊集院駅と西鹿児島駅間の所要時間は 8 分と、アクセスに恵まれています。

松元町は歴史あるお茶の産地で、昔ながらの手もみ茶ができる町として県内外に知られています。体験学習の館「茶山房」では毎年ゴールデンウィークに茶の手もみ教室が行われます。

○平野岡健康づくり公園は、体育館と温泉が併設された全国でも珍しい施設です。多目的グラウンドやテニスコート、パターゴルフ場、草スキー場等があります。また、「卓球の町」として年間 30 回を超える卓球大会も開催され、卓球道具の貸し出しなど施設・用具も充実しています。春には公園内の約 1 千本の桜が楽しめます。平成 15 年度末には室内多目的グラウンドも完成予定です。

【主なプロジェクト】

- 生涯学習施設整備事業（歴史資料館や図書館建設等）
- 都市計画用途地域の拡充と都市計画事業
- 松元ニュータウンに関連する公共施設等の整備事業
- 農村総合整備事業
- 水利用型農業の推進

データで見る松元町（主要指標）

項 目	単位	デ ー タ	期 日	
面積	km ²	51.05		
地目別面積割合	宅地	%	5.2	平成13年度概要調書
	山林	%	64.5	
	畑	%	11.9	
	原野	%	1.0	
	田	%	6.9	
	雑種地	%	2.2	
	その他	%	8.3	
世帯数	世帯	4,234	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	12,065		
	(男)	人	5,789	
	(女)	人	6,276	
年齢別割合	15歳未満	人(%)	2,090 (17.3)	
	15～64歳	人(%)	7,794 (64.6)	
	65歳以上	人(%)	2,181 (18.1)	
人口増減数	平成13年	増加数	人	121
		自然増	人	4
		社会増	人	117
	平成12年	増加数	人	300
		自然増	人	6
		社会増	人	294
	平成11年	増加数	人	204
		自然増	人	-5
	社会増	人	219	
就業者数	人	5,769	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	6.0	
	第2次産業	%	30.5	
	第3次産業	%	63.3	
普通会計	歳入決算額	千円	6,007,246	平成13年度
	歳出決算額	千円	5,933,998	
町内純生産		千円	17,595,819	平成11年度 (控除) 帰属利子 675,798
	第1次産業	千円	736,665	
	第2次産業	千円	7,154,383	
	第3次産業	千円	10,380,569	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

郡山町

【概要】

郡山町は、昭和 31 年 9 月に町制を施行した豊かな自然や史跡、温泉等の資源に恵まれた町です。「ひと・水・わくわく郡山」のスローガンを定め、町民はもとより、訪れた人々がうるおいややすらぎを感じるまちづくりを行うことを目指しています。また、都市近郊の地理的条件を生かした農林業や観光の振興に努めています。

甲突川の上流域に位置しており、合併することで、一元的な水資源の涵養・保全による、より安全でおいしい水の安定的供給のほか、観光農園等を活用した都市農村交流型農業等の振興を図ることができます。

なお、現在の鹿児島市への通勤率・通院率は県内第 3 位です。

【位置及び地勢】

日置郡の最東北部に位置し、四方を 1 市 6 町に隣接しており、東に東経 130 度 31 分、西に東経 130 度 25 分、南に北緯 31 度 39 分、北に北緯 31 度 44 分に位置しています。

東部に三重岳・花尾山、西部に重平山、北部に八重山があり、南部に小高い丘陵で鹿児島市に連なっています。主な河川は、甲突川が中央部を、その支流が東側を流れて鹿児島湾に注ぎ、西側は神之川が流れて東シナ海へ注いでいます。

地質は全般的に火山性岩類からなり、安山岩を主とする火山岩の分布する山岳地帯と、これを取り囲んだ形のシラス台地が大部分を占めています。

【特徴】

総合運動公園内のスパランドららら（裸・楽・良）は、水着で遊べるお風呂<スパゾーン>や和洋の大浴場と露天風呂、レストラン、宿泊施設等も完備しています。鹿児島市街地や桜島を一望できる八重山キャンプ村は、テントサイトやコテージがあり、キャンプファイヤーも楽しめます。隣接する八重山公園では草スキーやアスレチックも楽しめます。

薩摩日光「花尾神社」は、県の文化財に指定され、島津家の初代藩主忠久の父母、源頼朝と丹後局を祀り、社殿には 401 枚の草花を描いた天井絵があります。

また、「丹後局の墓」と「おこけ石」が境内にあり、今でも多くの方が安産祈願に訪れ、「おこけ石」の苔を削って持ち帰り安産のお守りとされています。

特産のレイシ（ニガウリ）は県内一の生産量を誇り、主に東京や大阪、名古屋市場へ出荷され郡山ブランドを確立しています。

また、竹林面積も 336ha と多く、年次毎に竹林改良事業を実施し、早掘タケノコの生産も 10 月下旬から東京市場を中心に出荷されています。

【主なプロジェクト】

市街地振興プロジェクト

運総合動公園活用プロジェクト

八重山周辺プロジェクト

花尾神社周辺プロジェクト

都市農村交流プロジェクト

ひとづくりプロジェクト

データで見る郡山町（主要指標）

項 目	単位	デ - タ	期 日	
面積	km ²	57.75		
地目別面積割合	宅地	%	4.1	平成13年度概要調書
	山林	%	53.5	
	畑	%	5.2	
	原野	%	2.4	
	田	%	9.0	
	雑種地	%	1.5	
	その他	%	24.4	
世帯数	世帯	3,040	平成12年10月1日国勢調査	
人 口	人	8,314		
	(男)	人	3,968	
	(女)	人	4,346	
年齢別割合	15歳未満	人(%)	1,200 (14.48)	
	15～64歳	人(%)	5,074 (61.03)	
	65歳以上	人(%)	2,040 (24.54)	
人口増減数	平成13年	増加数	人	-20
		自然増	人	-42
		社会増	人	22
	平成12年	増加数	人	18
		自然増	人	-41
		社会増	人	59
	平成11年	増加数	人	-22
		自然増	人	-35
		社会増	人	13
就業者数	人	3,948	平成12年10月1日国勢調査	
	第1次産業	%	10.2	
	第2次産業	%	32.7	
	第3次産業	%	57.1	
普通会計	歳入決算額	千円	5,598,511	平成13年度
	歳出決算額	千円	5,343,410	
町内純生産		千円	11,346,755	平成11年度 (控除) 帰属利子 439,271
	第1次産業	千円	508,401	
	第2次産業	千円	4,100,428	
	第3次産業	千円	7,177,197	

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。

データで見る郡山町（主要指標）

項目	単位	データ	期 日		
面積	km ²	57.75			
地目別面積割合			平成13年度概要調書		
宅地	%	4.1			
山林	%	53.5			
畑	%	5.2			
原野	%	2.4			
田	%	9.0			
雑種地	%	1.5			
その他	%	24.4			
世帯数	世帯	3,040	平成12年10月1日国勢調査		
人口	人	8,314			
(男)	人	3,968			
(女)	人	4,346			
年齢別割合					
15歳未満	人(%)	1,200 (14.48)			
15～64歳	人(%)	5,074 (61.03)			
65歳以上	人(%)	2,040 (24.54)			
人口増減数	平成13年	増加数	人	-20	
		自然増	人	-42	
		社会増	人	22	
	平成12年	増加数	人	18	
		自然増	人	-41	
		社会増	人	59	
	平成11年	増加数	人	-22	
		自然増	人	-35	
		社会増	人	13	
就業者数	人	3,948	平成12年10月1日国勢調査		
第1次産業	%	10.2			
第2次産業	%	32.7			
第3次産業	%	57.1			
普通会計	歳入決算額	千円	5,598,511	平成13年度	
	歳出決算額	千円	5,343,410		
町内純生産	千円	11,346,755	平成11年度 (控除) 帰属利子 439,271		
第1次産業	千円	508,401			
第2次産業	千円	4,100,428			
第3次産業	千円	7,177,197			

四捨五入等の関係で、総計の数字が合わないことがあります。